

# 那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.39

平成25年10月23日発行

那珂市活性化対策特別委員会視察（岐阜県大垣市、長野県大町市）  
中心市街地活性化基本計画、ブランド化事業などについて



大町市での視察研修



大垣市キャラクター  
「おがっきい」



大垣市奥の細道むすびの地記念館



## 平成25年那珂市議会第3回定例会

議決した主な議案等	2ページ
委員会レポート	7ページ
市政を問う 8議員が一般質問	11ページ
請願・陳情の審査結果	15ページ
第4回定例会開会予定	16ページ

# 那珂市議会基本条例を可決

## 平成24年度決算、補正予算など可決



平成24年度決算の審議（総務生活常任委員会）

### 平成25年第3回定例会

（9月2日～9月19日）

- 9月2日 本会議  
（議案上程など）
- 9月4日 本会議  
（一般質問 6名）
- 9月5日 本会議  
（一般質問 2名）  
（議案等の委員会付託）
- 9月9日 産業建設常任委員会
- 9月10日 教育厚生常任委員会
- 9月11日 総務生活常任委員会
- 9月19日 本会議  
（委員会報告、決算認定）

市民に開かれた議会を目指して、議会改革を推進しています。

議会基本条例を制定しました

那珂市議会では、地方分権により議会の果たすべき役割が大きくなっていくことや、議会に対する住民の関心の希薄化などを踏まえて、議会の活性化や市民参加の促進などの議会改革を推進しています。そこで、議会の

市民に開かれた議会を目指して、議会改革を推進しています。

議会基本条例を制定しました

那珂市議会では、地方分権により議会の果たすべき役割が大きくなっていくことや、議会に対する住民の関心の希薄化などを踏まえて、議会の活性化や市民参加の促進などの議会改革を推進しています。そこで、議会の

## 議 会 改 革

### 議案件数と結果

- 市長提出議案（9件）
  - 条例関係 1件（可決）
  - 予算・決算関係 8件（すべて可決・認定）
- 議員提出議案（3件）
  - 条例関係 1件（可決）
  - 委員会報告 5件（7～9ページ参照）
  - 意見書 2件（15ページ参照）
- 請願・陳情
  - 請願 1件（15ページ参照）

使命を果たし、市民に開かれた議会として、存在感のある信頼される議会を目指すため、議会運営及び議員活動の基本原則などを定め、市民の負託に応え、市民の生活及び福祉の向上に寄与することを目的とし、那珂市議会基本条例を制定しました。

議会議場を改修します

那珂市の議会議場のマ

イクなどの設備は、平成元年から使用しており、老朽化しています。その設備の改修の予算を9月の補正予算で議決しました。11月中に改修をして、12月より新しい設備で実施する予定です。新しい設備では、議場内の音声をより明瞭で聞きやすく、活発な議論ができるように、また、議会の映像もきれいに録画配信できるようにする予定です。

# ◆◆◆那珂市議会基本条例◆◆◆

議会基本条例（全24条）は、9月19日に可決し、10月1日から施行しました。  
条文の主要な部分を掲載します。  
なお、条例の全文は、那珂市ホームページに掲載しております。

## 第1章 総則

### （目的）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）及び関係法令に定めのある議会の権限を行使し、使命を十分に果たすため、議会及び議員の基本原則、その他議会に関する基本事項を示し、開かれた議会として、市民の負託に応え、市民の生活及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

### （議会の基本原則）

第2条 議会は、市政の監視、意思決定等をする重要な責務を担うことから、次に掲げる事項を基本原則として運営するものとする。

- （1）議員の自由討議と民主的な合意形成により、公正で最良な市の意思決定をすること。
- （2）市政等に関する調査研究を行い、監視、改善及び政策策定をすること。
- （3）本会議、常任委員会及び特別委員会（以下「会議等」という。）の内容について情報提供をすること。
- （4）市民の意見を聴取する機会を確保すること。
- （5）会議等は、公開すること。
- （6）効率的で効果のある議会運営を行うため、改善や改革に取り組むこと。

### （議員の基本原則）

第3条 議員は、議会において、次に掲げる基本原則により活動するものとする。

- （1）品位を保持し、公正で誠実な責任ある言動をすること。
- （2）自由討議により、論点及び争点を明確にして合意形成に努めること。
- （3）市政等に関する調査研究を行い、政策提言に努めること。
- （4）市民の多様な意見の的確な把握に努めること。
- （5）議会の内容について、市民への説明責任を果たすこと。

## 第2章 市民及び議会

### （市民及び議会の関係）

第4条 議会は、市民の意見を市政に反映させて意思決定を行う議決機関であることから、議会への市民参加の機会を確保するなど、市民に開かれた議会を目指すものとする。

### 議会基本条例について

#### ◎条例制定の経緯

平成24年3月に議員が改選となりました。新たな議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会改革を推進しています。具体的な取り組みとしては、全員協議会で議案審議をしないで常任委員会で議案審議をすること、委員会傍聴席の増設、請願陳情提出者の会議への説明出席、執行部の反問の実施、議会映像の録画配信、アンケート実施など着々と改革の作業を進めています。

このように議会改革を推進し、議会運営や活動の原則を定め、議会の目指すべき指針などを明確にしてまとめたものが議会基本条例です。

#### ◎議会報告会の実施

この議会基本条例には、議会報告会を年に1回以上開催することが義務づけられています。

議会報告会とは、集会所などで、市民の皆様へ議会の内容を報告したり、意見交換などを実施するものです。

現在、議会報告会の実施に向けて準備を進めております。



# 決 算 審 査

**平成24年度各種会計歳入歳出決算**  
**歳入総額345億7,303万円**  
**歳出総額325億 999万円**

## 平成24年度那珂市一般会計決算

会計区分（歳入）	収入済額	会計区分（歳出）	支出済額
市税	67億1,669万円	議会費	2億2,043万円
地方譲与税	2億8,217万円	総務費	32億2,778万円
利子割交付金	1,438万円	民生費	55億 985万円
配当割交付金	1,169万円	衛生費	11億3,558万円
株式等譲渡所得割交付金	303万円	農林水産業費	6億4,293万円
地方消費税交付金	4億3,834万円	商工費	1億7,381万円
ゴルフ場利用税交付金	175万円	土木費	20億9,652万円
自動車取得税交付金	7,324万円	消防費	9億3,713万円
地方特例交付金	2,971万円	教育費	21億 690万円
地方交付税	43億2,215万円	災害復旧費	11億4,069万円
交通安全対策特別交付金	817万円	公債費	19億7,855万円
分担金及び負担金	2億7,224万円	諸支出金	201万円
使用料及び手数料	2億1,362万円	予備費	0万円
国庫支出金	22億6,825万円		
県支出金	12億5,697万円		
財産収入	8,450万円		
寄付金	205万円		
繰入金	1億 897万円		
繰越金	24億2,870万円		
諸収入	5億2,892万円		
市債	14億8,379万円		
歳入合計	205億4,933万円	歳出合計	191億7,218万円

**一般会計歳入額 205億4,933万円**  
**一般会計歳出額 191億7,218万円**  
**歳入歳出差引残額 13億7,715万円**

## 平成24年度那珂市特別会計決算

会 計 区 分		歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 A-B
特 別 会 計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	57億7,164万円	54億5,714万円	3億1,450万円
	下水道事業特別会計	29億 590万円	26億5,388万円	2億5,202万円
	公園墓地事業特別会計	1,611万円	1,330万円	281万円
	農業集落排水整備事業特別会計	8億5,820万円	8億3,041万円	2,779万円
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	38億9,218万円	38億1,693万円	7,525万円
	上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計	1億 314万円	9,000万円	1,314万円
	後期高齢者医療特別会計	4億7,652万円	4億7,614万円	38万円
小 計		140億2,369万円	133億3,780万円	6億8,589万円

## 平成24年度那珂市水道事業会計決算

会 計 区 分		収入決算額 A	支出決算額 B	収入支出差引額 A-B
水道事業会計	(収益的収支)	11億4,976万円	9億8,866万円	1億6,110万円
	(資本的収支)	2億4,470万円	4億8,786万円	▲2億4,316万円

### 審査経過

◆ 9月2日 本会議  
市長から平成24年度の各種会計歳入歳出決算、水道事業会計決算やその他の議案の概要説明がありました。

また、決算に対して、監査委員から「概ね適正な決算状況であり、今後効果的・効率的な行財政運営を推進することを期待する。」との意見がありました。

◆ 9月6日 本会議  
各常任委員会に議案を付託しました。

◆ 9月9日 産業建設常任委員会  
平成24年度決算や平成25年度補正予算、条例改正を審議しました。すべて全会一致で認定、可決すべきものと決定しました。

◆ 9月10日 教育厚生常任委員会  
平成24年度決算や平成

25年度補正予算などを審議しました。決算は賛成多数で認定すべきもの、補正予算は全会一致で可決すべきものと決定しました。

◆ 9月11日 総務生活常任委員会  
平成24年度決算や平成25年度補正予算などを審議しました。すべて全会一致で認定、可決すべきものと決定しました。

### 結論

◆ 9月19日 本会議  
定例会最終日、各常任委員長報告を行い、委員長報告に対する質疑を行いました。

各議案に対する討論・採決を行い、各種会計歳入歳出決算と水道事業会計決算については、反対討論があり、賛成多数で認定となり、その他の議案は全会一致で原案のとおり決定しました。

## 補 正 予 算

平成25年度補正予算 6 件を原案のとおり可決

会 計 名	補 正 額	補正内容	補正後の総額
一般会計補正予算 (第2号)	3億8,793万円	民間保育所補助事業など	189億1,942万円
下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	1,558万円	単独災害復旧事業など	28億8,148万円
公園墓地事業特別会計補正予算 (第1号)	213万円	公園墓地管理事業など	1,513万円
農業集落排水整備事業特別会計補正予算 (第2号)	184万円	職員人件費	10億1,485万円
介護保険特別会計 (保険事業勘定) 補正予算 (第1号)	3,616万円	一般会計繰出金など	41億5,616万円
水道事業会計補正予算 (第1号) (資本的支出)	1,653万円	公営企業金融公庫債元金償還	5億9,705万円

## 全 員 賛 成 に よ り 議 決 し た 議 案

番号	件 名
報 告	
第14号	平成24年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化判断比率の状況について
第15号	平成24年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率の状況について
第16号	平成24年度那珂市一般会計継続費精算報告書について
議 案 (執行部提案)	
第49号	那珂市営住宅条例の一部を改正する条例
第50号	平成25年度那珂市一般会計補正予算 (第2号)
第51号	平成25年度那珂市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)
第52号	平成25年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算 (第1号)
第53号	平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算 (第2号)
第54号	平成25年度那珂市介護保険特別会計 (保険事業勘定) 補正予算 (第1号)
第55号	平成25年度那珂市水道事業会計補正予算 (第1号)
請 願	
第1号	教育予算の拡充を求める請願
発 議 (議員提案)	
第3号	那珂市議会基本条例
意見書 (議員提案)	
第1号	地方税財源の充実確保を求める意見書
第2号	教育予算の拡充を求める意見書

## 賛 成 多 数 に よ り 議 決 し た 議 案

○：賛成 ●：反対 ※議長（福田耕四郎議員）は採決に加わりません。

議案等名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
		筒井かよ子	寺門厚	小宅清史	福田耕四郎	綿引孝光	木野広宣	古川洋一	中庭正一	萩谷俊行	勝村晃夫	中崎政長	笹島猛	助川則夫	君嶋寿男	武藤博光	遠藤実	須藤博	加藤直行	石川利秋	木村静枝	海野進	木内良平	
認定第2号 平成24年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
認定第3号 平成24年度那珂市水道事業会計決算の認定について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

継続調査

調査事項

- 1 議会基本条例の制定に関する事項
- 2 その他議会改革に関する事項

那珂市議会基本条例の草案を作成



H25.7.17 議会改革特別委員会

◎第14回 7月5日

◆議会基本条例(案)

議会基本条例の骨子を基にして作成した議会基本条例の素案について審議しました。

議会基本条例の目的、議会の基本原則、議員の

基本原則の内容検討や、議会の開催内容を報告し、市民の意見を聴くための議会報告会を開催することなどを盛り込んでいくことなどの審議をしました。

◎第15回 7月17日

◆議会基本条例(案)

議会基本条例の素案について審議しました。

政務活動費、政治倫理、会派、議員研修などについて審議し、議会基本条例(案)を策定しました。

◆議会議場の改修

議場のマイク・カメラなどの設備が老朽化しているため、設備改修について具体的な内容について審議検討しました。

◎7月25日

◆全員協議会で議会基本条例(案)の報告

全員協議会において、

議会基本条例(案)を説明し、協議をしました。

◎7月30日～8月23日

◆議会基本条例のパブリックコメント実施

那珂市役所、瓜連支所、図書館、ホームページ上で意見募集をしました。

その結果、市民からの意見はありませんでした。

◎第16回 8月1日

◆議会議場の改修

議場の改修のため、平成22年5月に開庁した、新しいつくば市議会議場を視察しました。

◎第17回 8月28日

◆議会基本条例(案)

パブリックコメントの結果、意見がなかったことを踏まえ、議会基本条例(案)について、条文

の字句や言い回しなどについて、一部修正を行い条文整理をしました。

また、条例が施行された場合に実施する、議会報告会についての内容などを検討しました。

◎第18回 9月5日

◆議会議場の改修

議会議場の改修について、カメラやマイクの設置や議席の一部撤去など具体的な内容について審議検討しました。

◆平成26年度議会費予算要望案

来年度の議会として必要な予算概要などについて審議検討しました。



# 那珂市活性化対策特別委員会

## 継続調査

### 調査事項

- 1 産業の活性化に関する事項
- 2 観光の振興に関する事項
- 3 企業誘致に関する事項
- 4 土地活用に関する事項
- 5 再生可能エネルギーに関する事項
- 6 環境・防災対策に関する事項
- 7 震災復旧・復興に関する事項
- 8 その他関連する事項

主な調査内容は、産業の活性化に関する事項で、初めに6月27日に実施した行方市での視察について意見交換をし、参考とすべきことなどについて協議を行いました。

その後、今後の農業による那珂市発展へのビジョンや、現在の取り組み等について質疑を行いました。これに対する執行部の答弁から、耕作放棄地解消、地産地消推進、農業の担い手の育成と確保、6次産業化による儲かる農業の展開等の重要

性が確認されました。

当委員会としては、産業の活性化は農業の枠を越えて可能性を模索し、内容を絞る必要があるため、さらなる先進地視察を行い継続調査とすることを全会一致で決定しました。



H25.6.27 行方市視察  
(農業後継者、担い手育成と地元産物のマーケティングについて)

# 原子力安全対策特別委員会

## 継続調査

### 調査事項

- 1 住民の安全確保に関する事項
- 2 周辺の環境保全に関する事項
- 3 原子力安全協定に関する事項
- 4 核融合研究施設に関する事項
- 5 その他関連する事項

### J・P・A・R・Cのその後を調査

J・P・A・R・Cハドロン実験施設からの放射性物質の漏えいについては、5月に現地調査を実施した後の進捗について、事業所からの報告を求め審議しました。事故の原因や通報体制の改善等について

質疑が出され、事故原因は人為的なものではなく今後もないとは言えないため、外部に影響を与えない施設を整備すること、通報体制は、変えたと感じたら「注意体制」にするなどの答弁がありました。

### 放射性廃棄物焼却設備の設置について

株式会社ジェー・シー・オーが設置予定の焼却設備について、事業所からの報告を求め審議しました。この設備は、法律により敷地外に持ち出すことができない放射性廃棄物を焼却し減容するものと説明を受けました。焼却灰の扱いについての質疑に、ドラム缶に詰め敷地内に保管すると答弁がありました。

### 気体廃棄物の放出状況

執行部より提出された原子力事業所の気体廃棄物の放出状況については、すべての事業所において、放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。

### 原子力災害対策指針の改定について

緊急時モニタリングは国が統括し実施する体制となったこと、安定ヨウ素剤は発電所から5km圏内の本米崎地区を対象に、住民説明会を実施したのちに事前配布すると説明を受けました。



委員会での審議



## 産業建設常任委員会

### 調査事項 1 道路行政について

#### 継続調査

道路行政については、平成23年に審議を行い、同年6月の定例会にて調査を完了いたしました。今回は、執行部からその後の現状について説明を受け、今後の方針や対応策について議員間で協議を行いました。

自治会からの申請に対応して整備を行っているとの答弁がありました。また、予算が限られており、申請への対応で精一杯であるため、現段階では整備計画の作成は難しいとのことでした。工事までの流れについては、申請が採択されたあとも、自治会の同意など幾つかの手順が必要とのこと、現在の道路改良率が22パーセント、舗装率は49パーセントとのことでした。協議では、整備の遅れや整備率の低さを問題視する声が強く、それらの問題の解消のため、整備状況を把握できるマップを作成すべきであるとの意見が出されました。さらに、道路整備には下水道が絡むこともあるため、工事や経費が重複しないよう、担当課同士で調整をしていくべきであるとの意見も出されました。

以上のことから、道路行政については、整備の加速を図るとともに、費用の無駄を省くため、整備計画の作成及び予算の増加を今後也希望していきたいと致すこと、全会一致で継続調査とすべきものと決定しました。



委員会での審議

## 教育厚生常任委員会

### 調査事項 1 より良い教育環境の整備について

#### 継続調査

より良い教育環境の整備については、6月に成立した「いじめ防止対策推進法」や水戸市の「いじめ解決推進事業」について検討したほか、執行部より、いじめ早期発見のためのチェックリストや、家庭や地域との関わりなどについて説明を受けました。

委員からは、法律ができただけではいじめ

はなくならない、具体的な策を考えねばならないなどの意見が出されました。

また、いじめ対策等に対する知識と理解を深めるため、調査、視察を実施することに決定いたしました。

以上のことから、さらに調査が必要と考えられ、採決の結果、全員異議なく継続調査とすべきものと決定しました。



委員会での審議

# 全員協議会

全員協議会は、議長を座長として議員全員が出席する会議です。会議の内容は議会運営に関する事や、議会の議決事項以外の市の重要な案件などの報告や協議などです。

現在進めている議会改革の一つとして、全員協議会は、原則公開としています。第3回定例会の会期中に開催した主な会議概要についてお知らせします。

◆ 9月2日

● 民間事業者が那珂市一の  
関調節池に太陽光発電  
所設置

市は、公有財産を活用し、市の財源確保をはかるために、市役所の裏側にある調節池を民間事業者に有償で貸付けることにしました。その民間事業者は、太陽光発電施設を設置する計画で、現在、施設の基本設計の段階であることや、今後締結する協定書の説明、順調に事業が進めば来年1月頃より発電可能になるなどの進捗状況などについて説明がありました。

● 額田保育所を民営化する  
ためのガイドラインを  
作成

市は、行政改革や効率的な財政運営などの観点から、公立の額田保育所を民営化にする計画を進めております。そのため

に、こどもたちへの影響が少なく、保育所を継続しながら運営を引き継いでいく必要があることから、円満に民間事業者へ移譲するためのガイドラインを策定しました。移譲の計画が順調に進めば、平成25年度に公募をして、平成27年度より民営化されることとなります。

主な協議内容は、財政負担の軽減については、民営化することにより国県の補助金が出るようになるので、市の負担は年間で約3千万円減額になること、保護者説明会などでは特に意見がなかったこと、建物の老朽化対策では、民間事業者が建て替える場合は、国県の補助金が出るため、市の財源負担が減ることなどが話し合われました。

◆ 9月17日

● バス路線 水戸⇨常陸  
太田線の廃止

市内を運行している「水戸⇨常陸太田」間の路線バスについて、茨城交通(株)は赤字運行のため廃止の申し出を茨城県バス対策地域協議会へ提出しました。

同協議会分科会においては、廃止もやむを得ないとのことであり、平成26年4月1日には廃止の予定であると報告を受けました。

● 那珂市総合防災訓練  
(11月24日)の概要説明

市が実施する総合防災訓練について、今回は、那珂二中グラウンドをメイン会場として、市内全域を対象に実施するとの概要説明がありました。

全員協議会  
その他開催内容

◆ 9月2日本会議前  
・ 会期日程など

◆ 9月2日本会議後  
・ 県議長会議員研修  
・ 議会基本条例  
・ 平成24年度議会費  
決算  
・ 平成25年度議会費  
補正予算

◆ 9月4日  
・ 不適切発言

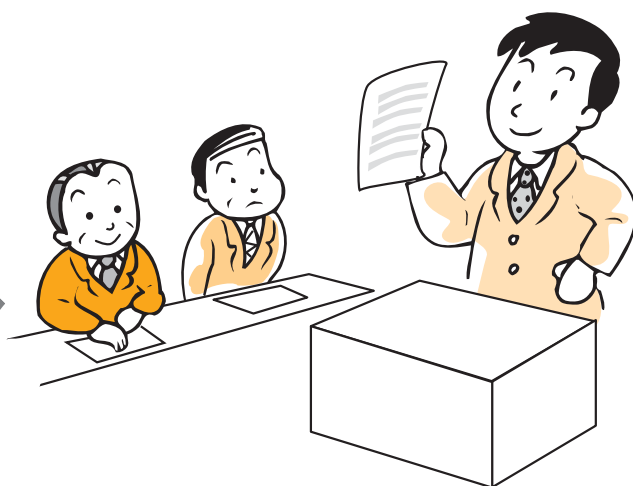
◆ 9月5日  
・ 会期日程変更など

◆ 9月17日  
・ 議員発言取消し  
・ 議会基本条例  
・ 議場設備改修  
・ 平成26年度議会費  
予算要望

・ 意見書2件

◆ 9月19日  
・ 12月定例会日程

# 市政を問う



8人の議員が登壇し、様々な視点から市政を質しました。

## 屋根貸し事業を導入してはどうか

### 公共施設に積極的に展開したい

温室効果ガスを抑制し持続可能な社会を築くため、再生可能エネルギーの積極的な導入が必要です。市は今後公共施設に太陽光発電施設を設置していくようになりますが、財政負担を伴わずに設置する方策として屋根貸し事業を導入してはどうですか。事業者の負担で公共施設に設置していただいて、その使用料を徴収し、災害時の緊急電源としても使用できます。

また、市民とともに温室効果ガス削減を目指すため、住宅用太陽光発電システムを設置した家庭へ補助金を交付してはどうですか。

市民生活部長 太陽

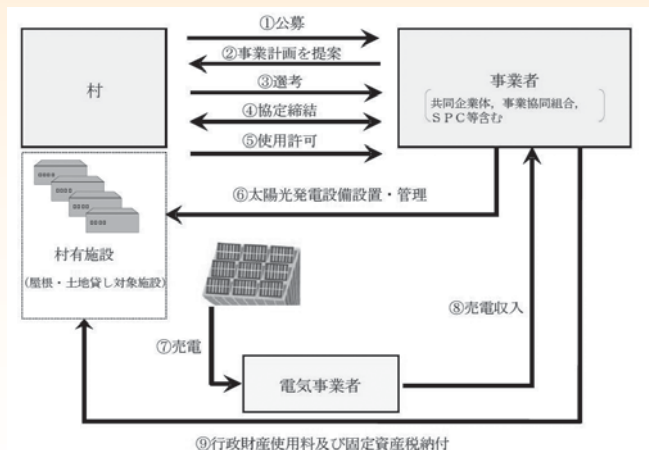
光発電施設導入価格の低下や財政事情が厳しい状況から、国の補助金に上乗せする補助制

度の導入は厳しいと考えている。

教育部長 学校への屋根貸し事業については、防災上の観点からよく研究していきたい。

市長 太陽光発電の民間資本を活用した市有地や公共施設の屋根貸し事業を積極的に展開していきたい。

市有地や公共施設の屋根貸し事業を積極的に展開していきたい。



東海村施設の「屋根貸し・土地貸し」による太陽光発電事業

### 質問事項

- 1 再生可能エネルギー導入の推進について
- 2 那珂市のPR推進について



遠藤 実 議員



## 終戦の日に黙とうの呼びかけを

### 周知の方法については今後検討

8月15日は、日本が第二次世界大戦でアメリカなどの連合国に負けた日です。戦後の世界政治は日本、ドイツ、イタリアが引き起こした不正不義の侵略戦争を二度と再び起こしてはならないという決意を原点に出発しました。いま8月15日を終戦の日と答えられない若者が33%もいるとの報道があります。

8月15日の終戦の日には防災無線などで黙とうの呼びかけをしてはどうか伺います。

戦後68年がたち、戦争体験者は年々少なくなっています。戦争体験を語る会、戦争記録写真展などを開催してはどうか伺います。

企画部長 防災無線は、緊急事態発生時のものであり、戦争に関する事柄については、

複雑な思いを抱いている方もいるので、状況を調査の上協議していきたいと考えています。戦争体験を後世に伝える取り組みは、有意義で重要です。記録、資料の保存は、喫緊に取り組まなければならぬ課題です。今後、具体的な方法を考えていきたいと思えます。



市立図書館で開催された原爆写真展（8月）

#### 質問事項

- 1 平和行政・平和教育について



木村静枝 議員

## 図書館の民営化で運営費削減を

### 武雄市の動向や状況等の調査を

不登校の小学生たちの居場所適応教室を図書館につくる計画を東京都杉並区が進めており、また、仙台市や岐阜県北方町では図書館に適応指導教室を開設しております。さらに佐賀県武雄市の図書館が民営化され1カ月で

来館者が前年同期の5倍となる10万人を突破し好調なスタートを切った。運営はツタヤを展開する（株）CCCで、市は運営費の削減とサービスの向上がねらいだと、また同社が

賃料として武雄市に年間約610万円を支払っている。さらに宮城県多賀城市も武雄市に次いで民営化しております。本市においても教育支援センターを図書館に設置し、また、図書館を民営化することにより運営費約74

38万円が削減され、さらに賃料610万円が得られるので民営化すべきではないですかお伺いいたします。

教育部長 教育支援センター設置については図書館の改装など課題が多い。また、図書館民営化については武雄市の動向等を調査してみたいと思えます。



那珂市立図書館

#### 質問事項

- 1 那珂市財政健全化プランについて



石川利秋 議員



市民の健康づくりの推進について

平均寿命が県内で男女ともに2位

我が国における高齢化の進展や疾病構造の変化に伴い、国民の健康の増進の重要性が増大しております。

国民健康づくり運動として健康寿命の延伸生活の質の向上を実現するため、早急に法的基盤を含め環境整備を進めるとの指摘がありました。その対策として運動教室や運動自主活動支援等の活動など、その他の事業を通じて健康増進、体力改善の老化防止、生活習慣病を予防するために積極的に事業に取り組むことが大事である。

平成22年の市町村別平均寿命が公表され、那珂市の男性が80.2歳、女性が86.8歳と茨城県内でいずれも2位となりました。成果を上げた理由をお伺いします。

保健福祉部長 特別

な事業や活動の成果というよりは、市民の健康に対する意識の高まりが平均寿命を押し上げたものと考えております。市民一人一人の健康に対する取り組みが、今回の成果に結びついたものと推察しております。

平成22年茨城県市町村別平均寿命一覧

	市町村名	H22順位	平均寿命	平成17年との比較	
				伸び率	並びに順位
男	茨城県		79.1	100.9%	順位
	牛久市	1	80.9	101.9%	7
	那珂市	2	80.2	102.8%	1
	守谷市	3	80.1	100.4%	38
	常陸太田市	4	80.1	102.0%	4
	日立市	5	80.0	101.4%	13
	取手市	6	79.9	101.5%	10
	阿見町	7	79.8	101.9%	6
	東海村	8	79.7	101.1%	20
	茨城町	9	79.6	101.0%	25
	ひたちなか市	10	79.5	100.0%	43
女	茨城県		85.8	100.6%	順位
	つくば市	1	87.0	100.9%	20
	那珂市	2	86.8	102.0%	2
	水戸市	3	86.6	101.3%	6
	かすみがうら市	4	86.6	101.5%	5
	守谷市	5	86.5	100.6%	25
	常陸大宮市	6	86.3	101.1%	13
	美浦村	7	86.3	101.2%	10
	桜川市	8	86.3	101.5%	4
	利根町	9	86.2	100.2%	37
	境町	10	86.2	102.3%	1

質問事項

- 1 胃がん検診について
- 2 市民の健康づくりの推進について



木野広宣 議員

こども発達相談センターについて

支援体制の充実を図ってゆく

将来を担う子供たちがより良い環境で成長できるため、教育的及び医療的側面からの総合的な援助を行いなから保護者を支援する拠点施設「こども発達相談センター・すまいる」が開設され5カ月が過ぎました。

発達障がいへの理解と療育に力を注ぎ、各種相談事業や指導、関係機関との連携を図るセンター方式が、先進的なモデル事業として他市町村からも注目されております。

那珂市の発達障がい児の療育に関しまして、人材その他の面で市長はどのようにお考えでしょうか。

市長 思い起こせば2年前、障がいをお持ちのお子さんのいる3人の方々からの要望を直にお聞きしたことに

あります。私は、このこども発達相談センターを、心身の発達に遅れのある、またはその疑いのある乳幼児及びその保護者と関係者のための総合的な相談を受けられる窓口にしたとと考えています。そのためにも、今後も支援体制の充実を図ってまいります。

質問事項

- 1 こども発達相談センター「すまいる」の開設とその後について
- 2 那珂市の特産品について



筒井かよ子 議員



こども発達相談センター「すまいる」の入口

専門部署を設けて市のPRを

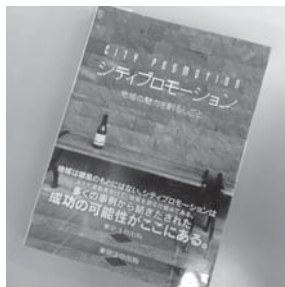
今後先進自治体を調査していく

他の自治体ではシティセールス戦略プランを策定し『ここで生活したい』『ここでビジネスがしたい』『ここに遊びにきたい』とかわせるセールス活動を行っています。自らの自治体をどうPRしていくか、どう魅力的なまちに見せていくかが重要なポイントと言えます。流入人口を増やすことを考えるならば、那珂市に住むとどのようなメリットがあるか、を考え宣伝していかねければなりません。今後那珂市のイメージアップを図っていく為に「マーケティング室」のような部署を作ってはいかがでしょうか。

企画部長 議員提案のシティプロモーション活動を展開することは、地域の魅力を創造

シティプロモーションとは

「地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと」



出典：東京法令出版 河井孝仁著  
「シティプロモーション～地域の魅力をつくる仕事～」

質問事項

- 1 シティプロモーションについて
- 2 行政評価のあり方について



小宅清史 議員

東海スマートI.C.の改善を

東海村と協議を行い努力する

東海スマートI.C.はJCOの事故を教訓に避難を原点到建設したと聞いています。未曾有の東電福島第一原発事故、未だに重大事象が起り、あの惨状、この世の地獄です。以来広域避難ということが言われておりますが、東海スマートI.C.の下り車線のアクセス道路においては狭いので大型車両の通行ができない上、わがわがづくらく非常に不便をきたしております。災害はいつ起こるか分かりません。そして農村部の過疎化が加速され深刻な問題です。地域の活性化、那珂市発展のためにも改善が重要と考えます。県、国に働きかけ、政局的にもチャンスと思えますので市長の考えをお伺いいたします。

市長 災害時の避難対策等は大変重要と考えております。財政的な課題がありますが、東海村に申し入れを行うと十分な協議を行うとともに、国及び県に働きかけを行うなど、災害時の万全な対策、地域の活性化及び市の発展にできる限り努力をしてまいります。

質問事項

- 1 東海スマートI.C.について
- 2 核融合西地区について
- 3 道路について



中庭正一 議員



東海スマートインターチェンジ



マラソン大会の開催を望むが

開催に向けて早速調査していく

①スポーツを通して  
 那珂市をもっともって  
 元気に活性化させたい  
 という想いからスポー  
 ツ振興事業の拡充を望  
 みます。その一つとし  
 て、数種の距離設定に  
 より幅広い年齢層の方  
 がそれぞれの目的で気  
 軽に参加できるマラソ  
 ン大会の開催を提案し  
 ます。選手のみならず  
 多くの市民が関わるこ  
 とによりまちの活性化  
 にも繋がると考えます  
 がいかがでしょうか。

や那珂川に架かる橋の  
 完成を記念して開催す  
 ることも考え、かすみ  
 がうらマラソンなどを  
 早速調査していきます。  
 ②サツカーや野球等  
 で使用できるグラウンド  
 の整備を望みますが。

市長 河川敷でのグ  
 ラウンド整備を考え、国  
 県への働きかけを行っ  
 ていきます。

教育部長 マラソン

大会の開催は、スポー  
 ツ振興や地域振興にお  
 いても大変有効である  
 と考えます。コース設  
 定や運営スタッフの確  
 保、地域との連携等多  
 くの課題がありますの  
 で、近隣の大会を参考  
 に実施の可能性を探っ  
 ていきます。

市長 後台の跨線橋



マラソン大会のイメージ  
 (かすみがうらマラソン)

質問事項

- 1 スポーツの振興について



古川洋一 議員

請願の審査結果

教育予算の拡充を求める請願

採 択

教育の機会均等と水準向上を図るため、少人数学級の推進や義務教育費国庫補助制度の堅持などを求めるものです。委員から、教育予算がGDPの高さに反してOECD加盟国中最下位という日本の状況を危惧する意見や、少人数学級がいじめ対策になるなどの意見がありました。

採決の結果、全会一致で採択とすべきものと決定し、意見書を提出することとしました。

(教育厚生常任委員会)

請願者 水戸市笠原町978-46 茨城県教職員組合 高野 富二男 外255名

意見書を提出

「地方財源の充実確保」を求め  
 る意見書

地方財政が置かれている財政需  
 要増加、税収低迷等の厳しい状況  
 の中、基礎自治体である市が住民  
 サービスやまちづくりを安定的に  
 行うために地方税源の充実確保を  
 求めるものです。

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、  
 総務大臣、内閣官房長官、  
 内閣府特命担当大臣

教育予算の拡充を求める意見書

子供たちに豊かな教育を保障す  
 ることはきわめて重要であり、学  
 級規模の少人数化拡充、東日本大  
 震災等における学校施設や子供た  
 ちの心のケアに継続的に取り組む  
 べきであるため、教育予算の確保・  
 充実を求めるものです。

提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、  
 文部科学大臣、財務大臣  
 総務大臣

# 議 会 日 誌

7月		8月	
2日	海老名市議会来訪	1日	議会改革特別委員会
5日	議会改革特別委員会 広報編集委員会	9日	原子力安全対策特別委員会
11日	広報編集委員会	23日	議会運営委員会
16日	那珂市活性化対策特別委員会	24～	横手市議会来訪
17日	議会改革特別委員会	25日	
18日	教育厚生常任委員会	28日	議会改革特別委員会
23日	産業建設常任委員会		
25日	全員協議会		

## 平成25年第4回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
12・3	火	本会議 ○開会 ○議案上程など
12・5	木	本会議（一般質問）
12・6	金	本会議（一般質問）
12・9	月	本会議（一般質問） ○議案質疑 ○議案の委員会付託 ○陳情・請願の委員会付託
12・10	火	常任委員会
12・11	水	常任委員会
12・12	木	常任委員会
12・19	火	本会議 ○委員長報告など ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程の変更や詳細については、議会事務局や議会ホームページでもご案内しています。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、11月22日(金)までにお願いします。

## ●● 議会の傍聴について ●●

那珂市議会では議会の本会議・常任委員会・特別委員会・全員協議会を公開しています。

傍聴をご希望のかたは、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。傍聴の手続きは、所定の用紙に住所・氏名を記入していただき、傍聴券の交付を受けるだけです。

お気軽においでください。

**9月定例会の傍聴者数 55名（延べ人数）**

## ◆◆ 議会録画映像を公開しています ◆◆

9月定例会の録画映像をインターネットで視聴できます。「You Tube」の動画サイトに掲載しました。詳しくは、那珂市ホームページの市議会のページをご覧ください。

## 表紙に寄せて

視察した大垣市では  
活性化対策に関連する  
事業を数えきれないほ  
ど実施しており、思わ  
ず「職員は何人いるん  
ですか？」と聞いてし  
まったほどです。担当  
者の「やらなければ何  
も始まらないですか  
ら」という言葉に熱意  
を感じました。やはり  
何事も人（ヒト）なん  
だと改めて思った次第  
です。

## 編集後記



君嶋 寿男

昨年の10月から1年をかけて、議会基本条例の制定に向けて協議をしてきた結果、先日、9月の定例会で可決しました。開かれた透明性のある議会を目指し、自ら議員が報告会を開き、市民の皆様のご意見を伺う。市民、議会、行政が一体となり、「住みやすいまちづくり」を目標に、今後、後にも全力で努力してまいります。

### 議会広報編集委員会

委員長 古川 洋一  
副委員長 綿引 孝光  
委員 筒井かよ子  
委員 寺門 厚  
委員 小宅 清史  
委員 中庭 正一  
委員 君嶋 寿男